2022-2023 年度 RI テーマ

第 2780 地区　ガバナー
佐藤　祐一郎

第 3 グループガバナー補佐
永松　秀行

イマジン
ロータリー

Rotary

2022-2023 年度

藤沢ロータリークラブ週報

■創　立　／　昭和 29 年 6 月 3 日　　■第 68 代　会長　／　廣島　純　　幹事　／　鈴木　大次

■事務所　／　藤沢市藤沢 93 新堀ライブ館 204　TEL：0466-25-4000　FAX：0466-26-9292　E-mail：info@fujisawa-rotary.com

■例会日　／　毎週水曜日 12:30～13:30　　■例会場／　湘南鎌倉クリスタルホテル TEL：0466-28-2111

NO.32　第 3290　例会　２０２３年　４月　５日　天候　晴れ

朝例会

国家「君が代」

ロータリーソング「我らの生業」

「四つのテスト」　和田　秀昭　会員

≪会長報告≫

・皆様、おはようございます。

世の中は新年度となりました。今年は、お花見をなさった方もいらっしゃるかと思います。

今年度、米山奨学生の受け入れを致します。米山奨学会から委嘱状が参りましたので、ご披露致します。カウンセラーは、崎山会員がお引き受け下さいました。2 年間よろしくお願い致します。今回の奨学生はインドネシア出身の湘南工科大学の学生　ハキム　ブライアンさんです。温かくお迎えください。

本日は、ホテルの方にはじめ皆さんのご協力をいただき、早朝例会をという形になりました。この試みは、どのようにしたら、皆さんが参加しやすくなるかということを模索する一環として行いました。本日は、普段と違う時間の為、スケジュール調整ありがとうございました。中には朝ですとお昼の業務の中断をしないで効率的ではないかという方もいらっしゃいます。また、朝は事業所で朝礼があるという方もいらっしゃいます。夜の方が都合がよい方もいらっしゃるかと思います。

私が藤沢ロータリークラブに誘っていただいた時週に 1 度、一緒に食事をする仲間というのは、他の会合とは違って特別なのだとお話いただきました。入会してしばらくするとその意味がわかりました。定期的にお会いしてお顔を合わせて、声をかわすのは、なかなかありません。

藤沢ロータリークラブは来年度 70 周年を迎える歴史があります。これから、様々な職業、年齢多様性を持った会員がより広く良い形で参加できる方法を考えていきたいと思います。問題は、多々あります。準備の時間やゲスト・ビジターの対応、卓話ゲストはどうなるのか等、やってみてはじめてわかることもあるかと思います。今日の試みを振り返って皆様のご意見をうかがい、今後の例会の在り方を考えていきたいと思います。

本日は、朝例会のイニシエーションスピーチをお引き受け下さって、蛭田会員ありがとうございます。よろしくお願い致します。

≪幹事報告≫

・4-6 月の年会費等の請求書を配布しました。

・次年度会務分担表を配布しております。ご確認お願い致します。

・トルコ・シリア大地震被災地への寄付について 31 名の会員から計 196,000 円のお申し出をいただ

出席報告

（　　）内は計算に用いた会員数

＋〔　〕は Zoom 出席者

例会月日	会員数	出席会員数	欠席会員数	出席率	メークアップ会員数	修正出席者数	修正出席率
3月15日	44(42)名	24名	18名	57．14%	3名	27名	64．28%
4月5日	44(42)名	24名	18名	57．14%			

きました。クラブ特別スマイル 10 万円と合わせ、2780 地区を通して寄付致しました。

・2 件お知らせです

大船フラワーセンター鎌倉アジサイ同好会「日本自生のアジサイ展」

秦野中 RC のハイキング同好会より「春の弘法山散策ツアー」

詳細は、受付にございますのでお持ちください。

≪委員会報告≫

・椋梨　青少年カウンセラー

3 月 17－19 日で、青少年交換候補生の京都研修旅行があり、2 日間同行しました。今回、太秦映画村を組み込みました。学生達、研修がんばっております。4 月 1 日にオリエンテーションで、京都研修の発表がありました。

４月 8 日、ふじさわ湘南 RC 主催の聖園学園の子ども達と青少年交換候補生の親睦会があり、参加いたします。後日報告いたします。

≪お祝い≫

結婚記念日　4 月 7 日　和田　庄治　会員

会員ご家族のご入学ご卒業のお祝い

小河静雄	会員	お子様	阿弥さん	大学卒業
小澤智幸	会員	お子様	醍智さん	高校入学
木島英夫	会員	お孫様	凪沙さん	大学卒業
大小原徹	会員	お孫様	瑛真さん	小学校入学
松本昌大	会員	お子様	侑己さん	小学校入学
和田秀昭	会員	お子様	大河さん	大学入学

代表して木島会員にご挨拶いただきました

≪スマイル報告≫

廣島　純　会長

蛭田会員、イニシエーションスピーチ楽しみです。よろしくお願いします。

木島　英夫　会員

孫の凪沙が大学を卒業致しました。

9 時から診療の為、早退致します。

瀧澤　秀俊　会員

12 年越しの悲願の朝例会おめでとうございます！

今朝のあまちゃんは録画しました。

和田　庄治　会員

結婚記念日祝い、ありがとうございます。

小澤　智幸　会員

入学祝いありがとうございます。

下野　多佳子　会員

月が替わってしまい申し訳ないのですが、誕生日のお祝いありがとうございました。

蛭田会員、イニシエーションスピーチ楽しみにし　ています。

鈴木　大次　会員

蛭田会員、イニシエーションスピーチ楽しみです。

和田　秀昭　会員

次男の入学祝いありがとうございます。

蛭田さんイニシエーションスピーチ楽しみにしています。

松本　昌大　会員

長男の入学のお祝いありがとうございます。

蛭田　圭一　会員

おはようございます。

本日のイニシエーションスピーチ宜しくお願い致します。

田島　義一　会員

誕生日祝いと結婚記念日祝いをありがとうございました。

≪小話　3分間スピーチ≫

松本　昌大　会員

次男の入学祝いありがとうございます。単身赴任が続いていて、幼稚園の入園式卒園式、小学校の入学式も出席できておりません。息子には何か一つと思い、4つ習い事をさせております。証券マンぽいでしょうか。

本日、記念すべき初めてのモーニング　ロータリーということで朝についてお話致します。証券業は朝の早い業界です。大半の社員は8時過ぎに出社しております。私は長年続けてきた朝のルーティーンが抜けておりません。毎朝5時起床後、出社、一人でラジオ体操をして、デスクで朝食を食べながら、モーニングサテライトを見るという習慣があります。朝の1時間が最も頭がクリアで仕事が進むと思っているので、朝の時間を大切にしています。

以前京都支店に在籍しておりました時、お付き合いのあるお寺の座禅の会に入っておりました。そのお寺のご住職様からうかがいましたお話をご紹介します。朝という漢字を4つつに分解してみてください。十、日、十、月となります。並び替えると、十月十日となります。ご存知の通り、人間の生命の誕生の事です。毎日生まれ変わる朝を大切にしなさいと座禅の会で、ご住職様からうかがいました。それから、私も一日の中で、朝を一番大切にしております。ありがとうございました。

≪卓話≫

イニシエーションスピーチ

蛭田造園株式会社

代表取締役　蛭田　圭一　会員

2023年12月7日に藤沢ロータリークラブの入会認証を頂きました蛭田圭一と申します。イニシエーションスピーチを機に、私のことを少しでも知って頂ければと思います。また、経歴と併せて造園の仕事を共感して頂ければ幸いです。

1978 年2月に藤沢市高倉で生まれ、現在は藤沢市辻堂新町に居住しており、妻とチアリーディングに夢中な小学4年生の娘（双子）の4人家族です。家業は造園業（蛭田造園）を営んでおり 2021 年より代表取締役を務めています。

高校から大学受験にかけて、

子どもの時から絵を描くことが好きだったこともあり、東京芸術大学油絵科を目指しました。デッサンや油絵を描く日々を過ごし、あっという間に年月が過ぎましたが、結果、4度の大学受験に失敗してしまい、精根尽き果て進学を諦めることになりました。当時は、仲間や後輩が進学していく中で取り残され、非常に落ち込みましたが、今となれば進学出来なかったからこそ開けた道もあり、良い想い出であります。また、二人の娘を持つ父親として、何も言わずに何度も受験に挑戦させてくれた両親に感謝をしています。

その後、浪人時代に培ったデッサン力を活かせるデザイン会社に入社し、グラフィック・WEB デザイン制作に携わりました。初めて社会人となった会社で印象に残っているのは、入社初日に徹夜をしたことです。当時はブラック企業という言葉もなく、驚きはしましたが好きなことを仕事に出来た喜びもあり「こういうものか」と普通に受け入れられた自分がいました。徹夜が続く多忙な日々ではありましたが、仕事が楽しく気づけば 10 年ほどデザインの仕事をしていました。

2009 年に家業である造園業に転職し、今までの経験とは全く異なる業種・環境となりました。家業の造園業は、曾祖父が大正期に渋谷区原宿にて創め、明治神宮の造営に携わっておりました。現在は、法人、公共、個人、神社仏閣、マンションなどのお客様に対して、緑空間に関わる造成・樹木管理をご提供しています。

また、私のロータリークラブ入会のご紹介者であります、白旗神社宮司鈴木大次様からお声掛けを頂き、源義経公没後 830 年記念事業の一環である御禊川施工にも携わらせて頂きました。日本庭園などで見られる川は、造園用語で「流れ」と言います。御禊川では、水が湧き出る水盤は京都で造られた物を用い、飛び石には鞍馬石を据えています。義経公が幼少期を過ごした京都鞍馬山の風景をイメージした「流れ」になっています。御禊川をご覧頂く際は、鞍馬山の川で遊ぶ義経公を想像して頂けたら幸いです。

最後に、藤沢で働きだして 14 年、いろいろなご縁がありまして皆様と時間を共有する機会を頂きました。至らない所が多々ありますが、これから末永いお付き合いの程よろしくお願い致します。

本日の朝ごはん